

【樹木・草花の部屋】

皇帝ダリア（キク科テンジクボタン属 *Dahlia imperialis*）

別名；ツリーダリア、木立ダリア 英名；

原産地；メキシコ南部からコロンビア、ボリビアにかけて

花言葉；活力、精力、心が通じる、生命力

花の色；ピンク、白

名の由来；皇帝に由来する大型ダリア



⇒ 写真－1 皇帝ダリア

撮影日；2011年9月10日

撮影場所；奈良県大和郡山市

奈良県フラワーセンターにて

（現在は、閉鎖されています。）

撮影者；Tさん

高さは3から6mにもなります。倒れないようにしっかりとした支えが必要ですが、鳥居型支柱で支え、強風に備えて、ロープで補強していました。

写真－2 皇帝ダリア ⇒

撮影日；2012年5月19日

撮影場所；奈良県広陵町

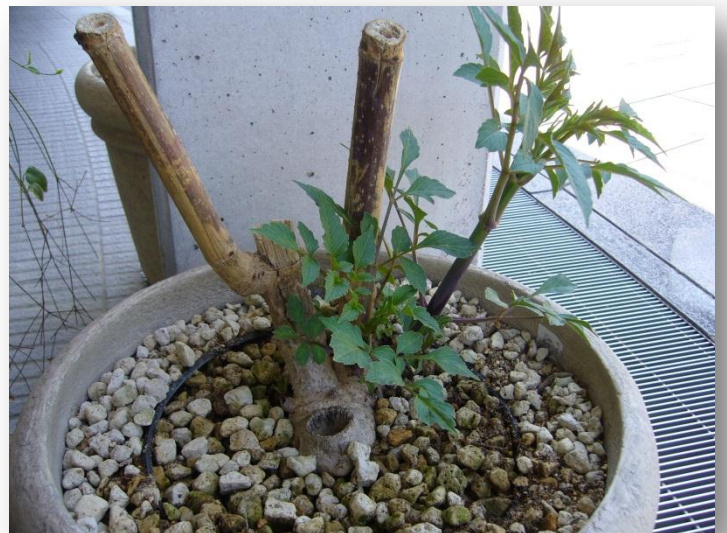
馬見丘陵公園館にて

撮影者；Tさん

フラワーセンターが閉鎖になり、馬見丘陵公園に合併されたため、フラワーセンターから移植されたそうです。地植えだった花が、鉢植えに変わっています。

昔、アステカの人たちは、太いこの茎が中空であることから水を流すための樋に利用し、全長60～80cmにもなる葉を家畜のエサにしていたとのこと。

太い茎の節から新しい芽が出て、これからずんずん大きく育っていきます。



【樹木・草花の部屋】



← **写真3・4**：皇帝ダリア
の立ち姿と蕾

撮影日：2012年

10月24日

撮影場所：奈良県広陵町

S邸にて

撮影者：Sさん

いまだ花の见えない、我が家の挿し木から育てた皇帝ダリアはどうなったのか。背丈は人の高さぐらいあるのですが、……。よく見ると小さなつぼみがついていました。咲いても、あまり大きな花は期待できそうにありません。



← **写真5**： 皇帝ダリアの蕾

撮影日：2012年11月30日

撮影場所：奈良県広陵町

S邸にて

撮影者：Sさん

挿し木で育てた我が家の鉢植え皇帝ダリアはずっとツボミのままだったので、このまま冬に枯れてしまうのかとあきらめていました。

先日塩化カリウムが手に入りました。

カリ肥料は開花結実を促進するとの記事があったので、根元にパラパラ撒いておきました。水曜日の雨で養分が吸収されたのかやっと開花です。結構大きな花でした。

<ちょっと一言>

皇帝ダリアのふやし方

皇帝ダリアは球根でふやすより、さし木でふやすのが一般的です。その際は今年伸びた太い茎を利用します。次の2つの方法があります。

茎伏せ法 肥料分のない清潔な土に保存しておいた茎を伏せて、茎が隠れるくらいに土をかぶせる。直接雨が当たらず日の良く当たる軒下などに置き、乾いたら水を与えながら管理します。新芽が20～30cmに伸びたら元から切り取り植えます。

管ざし法 太い茎を1節づつに切り分け、節の部分が、土にもぐるようにさすと、節の部分から発芽・発根してきます。土に植えるときは水苔でしっかり茎を巻きます。

●皇帝ダリアの成長の記録（2012年と2013年）フォトダイアリー

[写真を見る⇒](#)